

スエニシ

シネスコ版

39.2.28

No. 528

高知新聞ニス No. 269.
新愛媛新聞ニス No. 191.
中国新聞ニス No. 204.

一、およろこびの皇室(一) 家

二月二十日義宮さま津軽華子さんとお見合いをされました。二十二日宮内庁を代表して三谷侍従長が津軽家を訪問、正式に婚約を申入れました。津軽家でも、つっしんでお受けしますとたえここに義宮妃は内定したのです。華子さんは旧伯爵の父義孝氏と久子さんとの間に生れ、四人姉妹の末っ子として当年二十三歳。現代女性としては小柄の方でもスキー、テニス、馬術とスポーツは万能、なかでも馬術は学生時代はキャップテンをつとめたほどの近代的で明るいお嬢さんです。ご結婚は秋ごろになるだろうと宮内庁ではいっています。二月二十三日は浩宮さまの満四歳の誕生日。大好きなのは「お話」と「音楽」と「自動車」。希望の学習院幼稚園の入園式も四月十三日にきまり、お母さまの美智子妃も病気が回復され、すこやかに成長された浩宮さまはごきげんの毎日です。二十六日はお父さまと東京神田にある鉄道科学博物館をご見学楽しい一日をすごされました。

一、宇宙衛星からの便り

——米軍府中基地
アメリカが昨年十二月二十日打上げた気象衛星「タイロス八号」は去る十六日、東京府中の米軍基地第一気象隊で活動を始めました。十八日当局的発表した日本列島の写真は十六日午前十一時半、タイロス八号が日本上空を通過した際、約七百二十キロ上空から二百八秒間で送信されてきたもの。これで気象予報はもとより、台風の確認など今後の気象衛星は大きな期待をかけています。

現代に生きる

一、芸者人生

——福井県声原温泉

ここ北陸のアワラは人口四〇〇〇人の温泉郷です。芸者の数は一三〇人、その多くがこの土地生えぬきのおねえさんたち。芸者なしでは夜も明けません。おねえさん達の稼ぐ金は、月しめて五百万円とか。すべて検番という名の組合組織を通して配分されます。おねえさんたちの長い伝統は、すべからず「芸の一字でした。だが現代は何ごととも「自由」の時代。年々芸の厳しさはなくなり大いにレジャーを楽しんでいます。衰退していく芸妓の世界はこんなところにも原因がありそうです。そこでアワラ芸妓組合では「芸のない芸者」の汚名を返上し、日本古来の芸者の姿に戻すべく芸者の集団教育をはじめました。熱い雰囲気の中で先輩のベテラン芸者も真剣そのもの——けれども固い芸だけでは商売に弱いというわけか、珍妙なる逆立ちまで訓練されました。夕方ともなると芸妓置屋へ検番から芸者受けの電話——それからはずん忙しくなります。生々しい夜の「アワラ」が出現し粉雪の舞う北陸の街は活気が出て来ます。宴会そして二次会と——。だが彼女たちはほんとうの人生を、その後に感ずるのかも知れません。かくて今日から明日へと彼女たちは生きるのです。

25707

8207

21207